

● 桜井市の等彌神社 喜びの春

伊勢神宮から

内宮の鳥居

桜井市の等彌神社に伊勢神宮内宮(三重県伊勢市)にあった鳥居が譲渡され、神社の入り口に「一の鳥居」として設置された。一昨年の式年遷宮に伴って建て替えられた内宮鳥居の古い鳥居の1つで、神社では「最高のものをいただき、大変ありがたい」と喜んで

いる。伊勢神宮では20年に一度行われる式年遷宮で社殿や

一昨年の式年遷宮で建て替え

神宝が新調され、古い社殿などの用材は希望する全国の神社に無償で譲渡されている。

等彌神社では、一昨年の第62回式年遷宮で建て替えられた鳥居のうち1つの譲渡を神宮に申請。昨年夏、神宮の内宮正殿の最も近くにあった中重鳥居の譲渡が決まった。

設置された鳥居は検造りで、高さ約6尺、幅約8



内宮の鳥居だったことを示す説明板も

宮司「最高のものをいただき、感激」

。周辺整備を含めた設置工事は3月から始まり、4月下旬に完成。5月4日に「竣功奉祝祭」が営まれた。神社では内宮の鳥居であることを示す説明板も

等彌神社は、橿原宮で即位した神武天皇が皇祖神に大和乎定と建国を報告する大嘗会(大嘗祭の起源)を営んだとされる鳥見山の西麓にあり、2千年近い歴史を持つ県内有数の名社。式



等彌神社に設置された伊勢神宮内宮の鳥居—桜井市